

ロシア為替週報

2021年7月26日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去5週間の動き>

(6月19日~7月23日)

USD/RUB: 72.048~75.325

過去5週間のロシア・ルーブル相場は、下落。上昇の先行で、6月25日には対ドルで72.048まで上昇したものの、その後ほぼ一方的な急落で、7月8日には75.325まで下落。その後反発したものの、23日までにつけた高値は73.515にとどまった。ルーブル堅調の先行や、7月21日以降のルーブル反発に、原油価格の堅調/反発が与えた影響は小さくはなかった。ただし、7月6日に掛けての原油価格続伸が、ルーブル急落と前後した点や、7月19日以降の原油急落がルーブルの値動きにほとんど影響しなかった経緯を振り返ると、ルーブルと原油の連動は、この間、決して密とは言えなかった。7月19日以降の原油急落は、OPEC+による協調減産緩和合意(18日)を嫌気した値動きと考えられたが、その影響は一時的にとどまった。ロシア要因では、7月23日のロシア中銀金融政策委員会に注目が集まった。100b.p.の利上げは、ナビウリナ総裁が予告(6月28日)した+25~100b.p.の上限に当たったが、+50b.p.を中心に形成された市場の織り込みは、直前までに+100b.p.を中心とするまで進んでいたため、ルーブルの反応は限定的だった。この間、米企業に対するサイバー攻撃などを理由に、米政府が対ロ追加制裁を導入する可能性が度々観測されたことはルーブルの重石になったはずだが、7月21日、ノルドストリーム2の完工、運営などについて米独が合意に至ったのは、逆に好感できる要因と言えた。

<過去5週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
6/23	16:00	鉱工業生産(前年比)	5月	+11.8%	+10.5%	+7.6%r
6/30	13:00	経常収支(USD)	Q1 F	+23248mln	+16800mln	+7060mlnr
	16:00	失業率	5月	4.9%	5.1%	5.2%
	16:00	小売売上高(前年比)	5月	+27.2%	+26.3%	+35.1%r
	16:00	実質賃金(前年比)	4月	+7.8%	+2.5%	+1.8%
7/2	16:00	GDP(前年比)	Q1 F	-0.7%	-0.7%	-1.8%
7/6	16:05	国民福祉基金(USD)	6月	187.6bn		189.4bn
7/7	16:00	CPI(前年比)	6月	+6.5%	+6.4%	+6.0%
7/9	8:00	経常収支(USD)	Q2 P	+19900mln	+19850mln	+23248mln
7/12	13:00	貿易収支(USD)	5月	+10.2bn	+11.3bn	+10.6bn
	15:10	財政収支(RUB/年初来)	6月	+625.9bn	+350.0bn	+312.1bn
7/22	16:00	鉱工業生産(前年比)	6月	+10.4%	+11.0%	+12.3%r
7/23	10:30	1週間物入札金利		6.50%	6.50%	5.50%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(7月24日~7月30日)

USD/RUB: 73.20~74.00

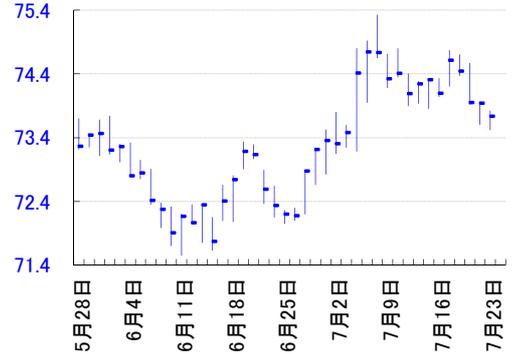
向こう1週間のロシア・ルーブル相場は、足元堅調推移が今しばらく継続する可能性を予想。過去5週間のルーブルの値動きを振り返ると、対ドルでは確かに上値の重さを確認し、反発も弱いように見えるが、この背景には米6月雇用統計の堅調などを反映したドル高の要素も色濃く存在する。同じルーブルの値動きでも、この間、対ユーロ、対円などのそれはむしろ堅調推移が支配的に見える。OPEC+による減産緩和(=増産)合意にもかかわらず原油価格が速やかに反発した経緯もルーブルには追い風のはず。更に、大幅利上げ観測の高まり、その確認、追加利上げ予告と並行して、特に7月21日以降、ロシア国債が明確に反発(利回りは低下)している事実も、ルーブルに強気になれる要因と言えよう。一方、米議会が夏休み明けとなる9月半ば以降、対ロ制裁を巡る議論が本格的に再開される可能性は、引き続き懸念材料。ノルドストリーム2に関して、完工の目処が立ったのは好感できるものの、その運営に関しては、独総選挙(9月26日)やウクライナとの(同国経由)ガス供給契約更新などに大きく左右されるものと見込まれ、大きな不透明感が残る。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
7/30	16:00	失業率	6月		4.8%	4.9%
	16:00	小売売上高(前年比)	6月		+11.9%	+27.2%
	16:00	実質賃金(前年比)	5月		+4.5%	+7.8%

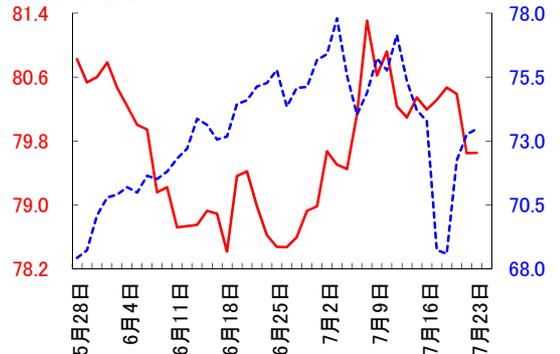
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/RUBの推移(日足/ロンドン7:00~17:00)

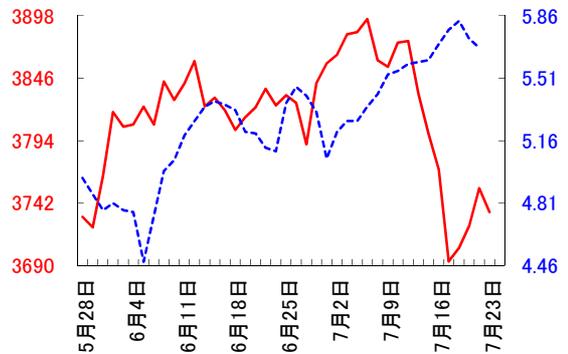


株ルーブル/バスケット推移(ロシア中銀公示)

原油価格推移(ブレント直物)



株式/金利相場の推移(MOEX指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		6.50%
成長率(GDP/前年比)	Q1	-0.7%
失業率	5月	4.9%
消費者物価(前年比)	6月	+6.5%
小売売上高(前年比)	5月	+27.2%
鉱工業生産(前年比)	6月	+10.4%
貿易収支(USD)	5月	+10.2bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。